

「しあわせをはぐくむ教育」のまちを目指して 海老名市教育大綱を策定

ことし4月、市では教育、学術および文化振興に関する総合的施策の目標や施策の根本となる方針として、「海老名市教育大綱」を策定しました。同大綱では、「えびなっ子しあわせプランの推進」「子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実」「安全安心な環境と新たな学校施設への取り組み」の3つを教育施策の柱として挙げています。ここでは、この3つの柱について、具体的な取り組みを中心に紹介します。



図教育総務課 ☎(235)4916

海老名市教育大綱の全体イメージ

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

- 子どもたちの「しあわせ」
- 家庭・学校・地域の「しあわせ」を目指します

子どもと大人がともに
成長する社会

子どもたちの
今と将来の
しあわせのための教育

家庭・学校・地域の
ための
よりよい環境づくり

学校・家庭・地域・行政の力が結集した

教育施策の3つの柱

「教育施策の3つの柱」

1 学校が主体

「えびなっ子しあわせプラン」の推進

■「学力」「集団力」「健康安全力」を身に付ける教育実践

子どもの今と将来の「しあわせ」のため、義務教育期間の9年間で計画的に「学力」「集団力」「健康安全力」を身に付けさせることを目指すとともに、教職員の指導力向上に努めます。

■小中の9年間を見通した教育システムの実施

学習や生活指導上の問題を解決し、児童・生徒がよりよく成長していくことを目的に、小中一貫教育を推進しています。今年度は有馬中・有馬小・杜家小・門沢橋小の4校を試行校として、中学校教員による小学校での授業や児童・生徒の交流などを行っています。



■海老名型「コミュニティスクール」の展開

保護者や地域の方が学校経営に参加し、子どもと学校を支援することで、共に学校を運営する「おらが学校」づくりを研究・検討します。

えびなっ子しあわせプラン：市が取り組む3年間の教育計画。学校教育や社会教育を通じて子どもたちが将来「しあわせ」に生きるための必要な力を身に付けるため、教育指導の充実と、学びの場として最適な新しい学校づくりを目指しているもの。

2 家庭・地域が主体

子どもと大人が共に学ぶ生涯学習の充実

■子ども・学校支援事業の実践

市内全小学校に「学校応援団組織」を設置し、地域と保護者が子どもと学校を支援する仕組み作りを推進します。また、「学習支援ボランティア」の拡充を図ります。

■図書館・文化財の積極的な活用

中央図書館・有馬図書館事業の充実を図ります。併せて学校図書支援員を活用し、学校図書館の充実を図ります。また、市の文化財を市内外に発信、活用を図ります。

■学校を拠点とした生涯学習社会と地域コミュニティの再構築

子どもと大人が共に学べる生涯学習の場、地域住民の集う場として学校を再構築します。

3 行政が主体

安全・安心な環境と新たな学校施設への取り組み

■安全・安心な子育て環境の整備

通学路に防犯カメラを設置し、登下校の安全を守るほか、体育館のトイレ改修や窓ガラスの飛散防止フィルムの設置により、安全・安心な学習環境などの整備を実施します。

■義務教育に係る公費負担の在り方の検討

小中学校1年生の教材費（ワークテスト・問題集・練習帳などの費用）を無償化することで、保護者の経済的な負担を軽減します。

■地域住民が集う学校施設の在り方

学校施設の公共化や在り方について検討を行います。学校に公共施設として複合的な機能を持たせるため、地域の拠点づくりを進めます。